



# 市長の ふれあい訪問



## 「ウクレレクラブ・リリアンU」

「彩の国いきがい大学」でウクレレクラブに所属していた方々が卒業後の平成14年に設立した「ウクレレクラブ・リリアンU」を岡村市長が訪問。ウクレレ演奏の楽しさや高齢者施設への慰問などをお聞きしました。

**市長** みなさんこんにちは。早いもので、いよいよ弥生・3月になりました。今月の市長のふれあい訪問は「ウクレレクラブ・リリアンU」のみなさんです。どうぞよろしくお願ひします。リリアンUというのは、かなり洒落たネーミングですが、どんな意味なのですか。

**野本** 「彩の国いきがい大学」で生涯学習の勉強とあわせて、クラブ活動としてウクレレも習っていました。卒業してからも続けようということで、練習会場のリリアンから名前をリリアンとし、UはウクレレのUから取りました。

**市長** このクラブはいつ設立されたのですか。

**福田** 平成14年です。現在会員は男性10人、女性14人、合わせて24人です。

**市長** 練習日はいつですか。

**広瀬** 毎月第1・第2・第3の水曜日の午前9時から正午までです。

**市長** 小島さんは、ウクレレをやってみてどうですか。

**小島** 初めは不安でしたが、今はとても楽しいです。ただ、一人ではできないので、みなさんに手助けしてもらいながら、演奏したり歌ったりしています。

**市長** 高松さんは、どうですか。

**高松** はい、私はみなさんより1年遅れてクラブに入りました。先生が歌を中心と言われるので、ハワイアンや日本の懐メロなどをがんばって歌っています。

**市長** 森さんは、いつからおやりになって

いるのですか。

**森** いきがい大学に入学後のクラブ紹介で、「ウクレレは指を使い声も出すので、認知症の予防になる」と勧められ、その時初めて、ウクレレを手にしました。

**市長** いきがい大学に入学するのに、年齢要件はあるのですか。

**広瀬** 60歳以上です。認知症の予防とボランティアをしながら地域活性化のお役に立てればと思っています。

**市長** 今、ボランティアの話ができましたが、どのようなところに慰問に行かれて、どんな活動をされているんですか。

**小島** 介護施設やデイサービスなどでハワイアンや童謡などを演奏しています。

**市長** 年に何回くらい訪問されているんですか。

**小島** 大体、月に1回くらいのペースです。

**野本** 楽器そのものが小さくて弦も少ないので、中高年でも何とかやれるかなという感じでしたが、実際弾けるようになると、大変楽しいです。

ホームから出演依頼が来ると励みになりますし、着る物も赤や黄色で行くと喜んでくれます。



**市長** そうい

うのを着ることによって、自分自身の気持ちも明るくなりやすよね。

**福田** 日頃の練習の成果をみなさんに聞いてもらおうと、今後の励みにもなります。

**市長** 演奏を聞いている方々の様子はどんな風ですか。

**森** 今まで反応しなかった方が、ウクレレ演奏を聞いて、手拍子取ったりリズム取ったりするので感動しました。とても嬉しかったですね。

**市長** 今、奈良の方では音楽療法をすごく盛んにやっていますよ。小さい頃の童謡とか文部省唱歌を歌いながらお手玉とかをやって指先を動かしていますね。メロディとリズムが人間の感性を刺激するんですよ。みなさんのような方が沢山おられたら、川口も、もっともっと素敵な街になりますね。

最後に、会員募集など抱負がありましたら、お聞かせください。

**野本** このクラブはとても楽しいのですが、まず、いきがい大学に入ってもらわないと入会できませんので、60歳になりましたら「彩の国いきがい大学」に入っていたら、ウクレレクラブで1年間練習を積んで、卒業したらこのクラブにぜひ入会してください。心からお待ちしています。

**市長** これからもがんばってください。今日は大変ありがとうございました。

